

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公開番号】特開2007-21039(P2007-21039A)

【公開日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-004

【出願番号】特願2005-210633(P2005-210633)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 5/07

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月10日(2008.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

体腔内情報を取得する情報取得手段と、
前記情報取得手段で取得された情報を外部装置に送信する送信手段と、
自装置の制御状態を変化させる状態制御要求の入力を受ける要求入力手段と、
前記要求入力手段による前記状態制御要求の入力に基づいて、前記情報取得手段および
前記送信手段の少なくとも一方の手段の動作状態を制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする体腔内導入装置。

【請求項 2】

前記要求入力手段が、自装置の外装部表面に配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の体腔内導入装置。

【請求項 3】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての押下が可能なスイッチ手段からなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の体腔内導入装置。

【請求項 4】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての圧力変化を検知する圧力検知手段からなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の体腔内導入装置。

【請求項 5】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての磁気変化を検出する磁気検出手段からなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の体腔内導入装置。

【請求項 6】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての電位変化を検知する電位検出手段からなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の体腔内導入装置。

【請求項 7】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての無線信号を受信可能な受信手段からなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の体腔内導入装置。

【請求項 8】

前記要求入力手段は、前記情報取得手段が所定時間内に取得した前記状態制御要求とし

ての前記体腔内情報の明るさを検知する明るさ検知手段からなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の体腔内導入装置。

【請求項 9】

前記要求入力手段は、前記情報取得手段が取得した前記状態制御要求としての特定の画像パターンを検知する画像パターン検知手段からなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の体腔内導入装置。

【請求項 10】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての磁気発生パターンを検知する磁気発生パターン検知手段からなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の体腔内導入装置。

【請求項 11】

生体内情報取得装置本体と、

この生体内情報取得装置本体に設けられ当該生体内情報取得装置本体外から動作モード切替要求を受けることが可能な動作モード切替要求スイッチと、

この動作モード切替要求スイッチが切替要求を受けたとき、前記生体内情報取得装置本体における動作状態を、切替要求を受ける前の第一の動作モードから、当該第一の動作モードとは異なる動作状態である第二の動作モードへ変更する制御部と、

を備えることを特徴とする生体内情報取得装置。

【請求項 12】

複数の動作モードを有し、動作モード切替要求スイッチと、この動作モード切替要求スイッチが切替要求を受けたとき、生体内情報取得装置本体における動作状態を、切替要求を受ける前の第一の動作モードから、当該第一の動作モードとは異なる動作状態である第二の動作モードへ変更する制御部とを備える生体内情報取得装置本体と、

この生体内情報取得装置本体を取り付けることができる取付部と、この取付部に前記生体内情報取得装置本体を取り付けると前記動作モード切替要求スイッチに動作モード切替要求を出す動作モード切替要求手段と、生体内に掛け止めることができる掛け止め部とを具備する留置装置と、

から構成されていることを特徴とする生体内情報取得装置留置システム。

【請求項 13】

生体内情報取得装置本体を取り付けるための取付部と、

この取付部に取り付けた前記生体内情報取得装置本体に動作モード切替要求を出すための動作モード切替要求手段と、

生体内に掛け止めることができる掛け止め部と、

を具備することを特徴とする生体内情報取得装置用留置装置。

【請求項 14】

体腔内情報を取得する情報取得手段と、前記取得手段で取得された情報を外部装置に送信する送信手段と、自装置の制御状態を変化させる状態制御要求の入力を受ける要求入力手段と、前記要求入力手段による前記状態制御要求の入力に基づいて、前記取得手段および前記送信手段の少なくとも一方の手段の動作状態を制御する制御手段とを有する体腔内導入装置と、

体腔内の情報を取得する体腔内導入装置を保持する保持手段と、前記体腔内組織に固定するための体腔内組織結合手段とを有する体腔内導入装置用留置装置と、

を備えることを特徴とする体腔内導入装置留置システム。

【請求項 15】

前記体腔内導入装置用留置装置は、

前記状態制御要求を出力する要求出力手段を

さらに備えることを特徴とする請求項 14 に記載の体腔内導入装置留置システム。

【請求項 16】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての押下が可能なスイッチ手段からなり、

前記要求出力手段は、前記保持手段が前記体腔内導入装置を保持した場合、前記スイッチ手段を押下する押下手段からなることを特徴とする請求項 1 4 に記載の体腔内導入装置留置システム。

【請求項 1 7】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての圧力変化を検知する圧力検知手段からなり、

前記要求出力手段は、前記保持手段が前記体腔内導入装置を保持した場合、前記体腔内導入装置の外表面に圧力を加える圧力手段からなることを特徴とする請求項 1 4 に記載の体腔内導入装置留置システム。

【請求項 1 8】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての磁気変化を検出する磁気検出手段からなり、

前記要求出力手段は、前記保持手段が前記体腔内導入装置を保持した場合、前記体腔内導入装置に磁気を加える磁気手段からなることを特徴とする請求項 1 4 に記載の体腔内導入装置留置システム。

【請求項 1 9】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての電位変化を検知する電位検知手段からなり、

前記要求出力手段は、前記保持手段が前記体腔内導入装置を保持した場合、前記体腔内導入装置に所定の電位を加える電位手段からなることを特徴とする請求項 1 4 に記載の体腔内導入装置留置システム。

【請求項 2 0】

前記要求入力手段は、外部からの前記状態制御要求としての磁気パターンを検知する磁気パターン検知手段からなり、

前記要求出力手段は、前記保持手段が前記体腔内導入装置を保持した場合、前記体腔内導入装置に所定の前記磁気パターンを出力する磁気パターン発生手段からなることを特徴とする請求項 1 4 に記載の体腔内導入装置留置システム。

【請求項 2 1】

体腔内情報を取得する情報取得手段と、前記取得手段で取得された情報を外部装置に送信する第 1 の送信手段と、自装置の制御状態を変化させる状態制御要求の入力を受ける要求入力手段としての第 1 の受信手段と、前記第 1 の受信手段による前記状態制御要求の入力に基づいて、前記取得手段および前記送信手段の少なくとも一方の手段の動作状態を制御する制御手段とを有する体腔内導入装置と、

体腔内の情報を取得する体腔内導入装置を保持する保持手段と、前記体腔内組織に固定するための体腔内組織結合手段とを有する体腔内導入装置用留置装置と、

前記送信手段から送信された情報を受信する第 2 の受信手段と、前記受信手段で受信された情報に基づいて、前記状態制御要求としての無線信号を送信する第 2 の送信手段とを有する外部装置と、

を備えることを特徴とする体腔内導入装置留置システム。